

# 北諸県地域基本計画

## 北諸県農林振興局

令和8年3月

北諸県農林振興局

### 目次

(ページ)

1	計画の性格と役割	1
2	地域農業・農村の特性	2
3	現状・課題	3
4	目指す将来像	3
5	重点的施策一覧	4
6	各重点的施策 (No 1～No5)	5 - 14

## 1 計画の性格と役割

本計画は、本地域における農業・農村の持続的発展に向け、目指す将来像や重点的施策をとりまとめたもので、以下の役割を有します。

なお、本計画は、「地域農業・農村の特性」、「現状・課題」、「目指す将来像」、「重点的施策」で構成し、重点的施策においては、各施策毎に「全体計画」として令和8年度から令和12年度の5年間で取り組む内容や目標を示しています。実施に際しては、別途「単年度計画」を作成し、より具体的に実施内容や時期等を明らかにした上で取り組みます。

本計画が、農業者、市町村、農業関係団体等における諸計画や産地振興等に向けた共通指針として活用されることを期待しています。

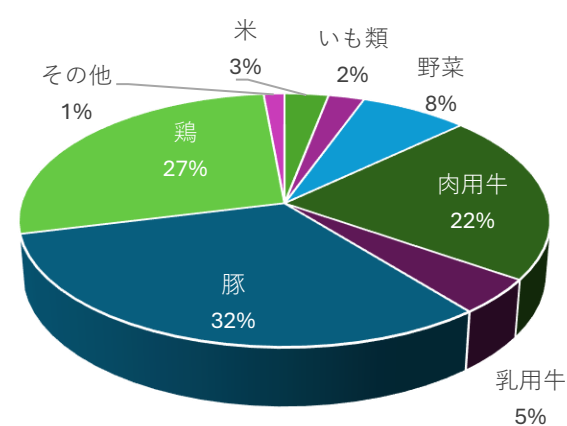
- 第八次宮崎県農業・農村振興長期計画における、目標や目指す将来像実現に向けた具体的な施策である「基本計画」のうち「地域」における具体的な展開方向を示す計画として位置付けます。
- 農業改良助長法における協同農業普及事業の運営に関する指針及びガイドライン、県協同農業普及事業の実施に関する方針に基づく普及指導活動計画として位置付けます。
- 令和4年度に改正された農業経営基盤強化促進法に基づく「地域計画」の策定を踏まえ、地域計画の実現に向け重点的に支援する地区を本計画に位置付けます。

1

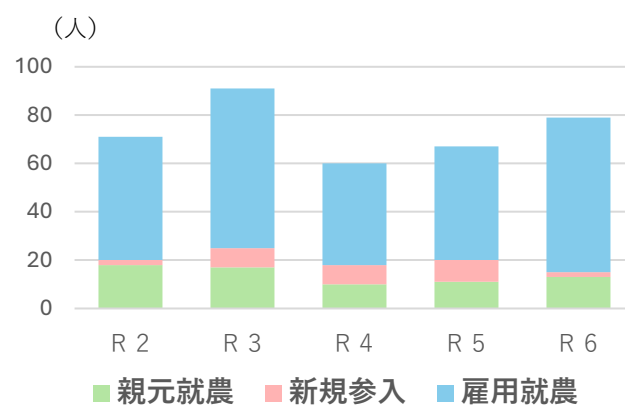
## 2 地域農業・農村の特性

- 北諸県地域は、温暖多雨地帯に属しながら内陸性の気候特徴を有し、季節による日較差が大きく、都城盆地を流れる大淀川流域に水田が広がり、その周囲には広大な畑地が形成されています。  
令和7年3月には、都城市を起点とする「都城志布志道路」が全線開通し、鹿児島県曾於市を經由して志布志市に至る広域ネットワークが形成されています。
- 北諸県地域の農業産出額は1,035億円（R5年）で、県全体の28.3%を占めています。  
このうち、畜産部門は886億円で、地域の農業産出額の85.6%を占め、県内で最も畜産が盛んな地域となっています。
- 耕種部門は、地域の農業産出額の14.3%を占める148億であり、このうち74%を野菜（露地、施設）と普通期水稻で占めています。  
また、農業法人や集落営農組織を中心とした大規模経営が展開されています。
- 農地の基盤整備については、効率的かつ生産性の高い農業の実現に向けた畑地かんがい施設の整備や水田のほ場整備が進んでいます。
- 新規就農者は、5ヶ年平均（R2～R6）で73.6人であり、農業法人等への雇用就農者が73%、新規参入が8%、後継者が19%となっています。  
また、雇用就農は露地野菜が最も多く、新規参入では施設野菜、親元就農では肉用牛が最も多くなっています。

北諸県地域の農業産出額（R5:1,035億円）



新規就農者数の推移



2

### 3 現状・課題

- 畜産は、担い手の減少等に伴う産地力の低下が懸念されることから、経営規模の拡大に加え、農家支援組織の拡充やスマート畜産の推進による生産基盤の強化を図っていく必要があります。
- 畑地では、農業法人等が大規模経営を行い、加工・業務用野菜等の栽培に取り組んでいますが、さらなる農地の集約や作業の分業化、畑地かんがい用水の活用を進め、実需者ニーズに対応できる産地体制を構築する必要があります。
- 水田では、稲作と露地野菜等の輪作に取り組んでいますが、高齢化が急速に進行していることから、人材の確保・育成とともに、農地の区画拡大等の基盤整備やスマート農機の導入を進めていく必要があります。
- 施設園芸では、環境制御技術の導入による高収益化に取り組んでいますが、担い手の減少等に伴う産地力の低下が懸念されることから、データの高度利用による収量・品質の向上や就農希望者の受入体制の整備や経営資源の円滑な承継等に取り組む必要があります。
- 国際情勢の変化による生産資材価格等の高騰や地球温暖化の進行を背景に、地域資源を活用し環境に配慮した循環型の農業に取り組む必要があります。

### 4 目指す将来像

#### 多様な担い手の連携と分業で築く「持続可能な北諸県農業」

- 肉用牛では、家畜防疫対策が徹底され、繁殖技術データに基づく飼養管理や、スマート機器の活用等により生産性の高い肉用牛経営が展開されています。
- 畑地の集積・集約が進み、大規模農業法人等がスマート農業技術や畑地かんがい用水を活用した生産性の高い加工業務用野菜の生産が展開されています。
- 簡易基盤整備等による区画拡大が進み、作業受委託による効率的で収益性の高い水田農業が展開されています。
- 施設園芸では、環境制御技術の高度利用が進み収益性の高いきゅうり栽培が展開しています。また、経営資源の円滑な承継により新規就農者が定着し、作業の細分化により多様な人材が活躍しています。
- 農業法人やコントラクター等が連携した飼料作物生産や、有機質肥料、飼料作物等を活用した資源循環型の農業が展開されています。

3

### 5 重点的施策一覧

No1 : スマート農業技術や分業体制の確立等による肉用牛産地づくり

No2 : 大規模農業法人等を核とした加工・業務用野菜の産地づくり

No3 : 簡易基盤整備等による生産性の高い水田農業の推進



No4 : 北諸県地域の施設園芸を牽引するきゅうり産地づくり

No5 : 地域資源を活用した循環型農業の推進

No	施策名	リーダー／サブリーダー	支援期間
1	スマート農業技術や分業体制の確立等による肉用牛産地づくり	農業経営課長／ 農畜産課長	R8～12
対象市町村			
都城市、三股町			

全体計画（5年間計画）

(1) 目指す将来像と必要な取組

5年後に 目指す 将来像	<ol style="list-style-type: none"> <li>繁殖技術データ分析やスマート機器技術の活用により生産性の高い経営が展開</li> <li>農家支援組織のサービス拡充や分業体制の確立により安定した経営が実現</li> <li>牛舎の改修や増築等の推進により1戸当たりの飼養頭数が増加</li> <li>就農支援体制の整備により多様な担い手が確保</li> </ol>		
必要な 取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>繁殖技術データ活用等による生産性向上の支援</li> <li>分業体制の確立に向けた農家支援組織の体制・サービスの強化</li> <li>次世代担い手の確保・育成と事業承継の支援</li> </ol>	巡回指導	ICT機器を活用した発情確認

(2) 目標

指標	R6 (基準)	R12 (目標)	指標	R6 (基準)	R12 (目標)
●肉用子牛の取引頭数	15,668頭	13,500頭	●規模拡大経営体数 (30～50頭規模農家数)	106戸	130戸
●農家支援組織数	2	5	●空胎日数	134日	100日

(3) 必要な取組ごとの実施内容と連携体制（全体像）

取組事項	地企	農畜	地支	農経	他	R8	R9	R10	R11	R12
<b>取組①：繁殖技術データ活用等による生産性向上の支援</b>										
内容1：技術支援の体系化・重点化による農家支援方策の策定	○	○	○	●	市、町、JA、NOSAI	●→				
内容2：繁殖技術データに基づく飼養管理、粗飼料栽培技術指導				●	JA、NOSAI		●→			
内容3：空胎日数の短縮や事故率低減に向けたスマート機器の適正活用推進	○	●	○	●	市、町、JA、NOSAI		●→			
<b>取組②：分業体制の確立に向けた農家支援組織の体制・サービスの強化</b>										
内容1：既存の農家支援組織の再編を支援	○	●	○	○	市、町、JA	●→				
内容2：農家支援組織のサービス内容の拡充・強化に向けた支援		●		○	市、町、JA		●→			
内容3：規模拡大に向けた畜舎等の改修等整備の推進		●		○	市、町、JA		●→			
<b>取組③：次世代担い手の確保・育成と事業承継支援</b>										
内容1：規模拡大を目指す次世代担い手毎の支援方策の策定	○	●	○	●	市、町、JA	●→				
内容2：新規就農希望者の法人等と連携した支援体制の強化	○	○	●	○	市、町、JA	●→				
内容3：離農農家の既存畜舎等を活用した事業継承の推進	○	○	●	○	市、町、JA	●→				

【補足説明】


- ・ 地企…地域農政企画課
- ・ 農畜…農畜産課
- ・ 農計…農村計画課
- ・ 農整…農地整備課
- ・ 地支…地域支援課
- ・ 農経…農業経営課

## 6 各重点的施策

No	施策名	リーダー／サブリーダー	支援期間
2	大規模農業法人等を核とした加工・業務用野菜の産地づくり	地域支援課長 / 農村整備課長	R8～12
対象市町村			
都城市、三股町			

### 全体計画（5年間計画）

#### （1）目指す将来像と必要な取組

5年後に 目指す 将来像	1. スマート農業技術を導入した大規模農業法人が効率的な営農を展開 2. 収穫作業等の分業化が進み、中小規模農家が経営面積を拡大 3. 大規模農業法人と連携した就農支援体制により新規就農者が安定的に確保	 自動式散水機による畑かん用水の散水
必要な 取組	① 効率的な営農に向けた農地集約と畑かん水の活用等による安定生産技術の確立 ② 農業法人や中小規模農家が連携した作業受託体制の構築 ③ 大規模農業法人等と連携した新規就農者支援体制の構築	

#### （2）目標

指標	R6（基準）	R12（目標）	指標	R6（基準）	R12（目標）
●経営面積30ha以上の経営体数	8経営体	12経営体	●加工・業務用野菜作付面積	906ha	950ha
●就農希望者受入体制モデル数	0	1			

#### （3）必要な取組ごとの実施内容と連携体制（全体像）

取組事項	地企	農畜	農計	農整	地支	農経	他	R8	R9	R10	R11	R12
<b>取組①：効率的な営農に向けた農地集約と畑かん水の活用等による安定生産技術の確立</b>												
内容1：農地の集約化に向けた支援方針の決定	●	○		○	○	○	市、町、JA、公社	●→				
内容2：農地の集約化手法の確立	●	○		○	○	○	市、町、JA、公社		●→			
内容3：実需者のニーズに応じたハウレンソウ等露地品目の安定供給技術の確立		○	○	○		●	JA	●→				
内容4：畑地かんがい施設整備の推進	○	○	●	●		○	市、町、JA	●→				
<b>取組②：農業法人や中小規模農家が連携した作業受託体制の構築</b>												
内容1：作業受託体制の構築に向けた取組方針の決定	○	●			○	○	市、町、JA	●→				
内容2：受委託者のニーズに応じた作業受託体制モデルの構築と波及	○	●			○	●	市、町、JA		●→			
<b>取組③：大規模農業法人等と連携した新規就農支援体制の構築</b>												
内容1：新規就農者を受け入れる大規模農業法人等のリストアップ及び意向調査	●	○			●	○	市、町、JA	●→				
内容2：大規模農業法人等との連携による新規就農者の受入体制の構築	●	○			●	○	市、町、JA		●→			
内容3：雇用就農に向けた研修支援	●	○			●	○	市、町、JA	●→				


【補足説明】

- 公社…宮崎県農業振興公社
- 地企…地域農政企画課
- 農畜…農畜産課
- 農計…農村計画課
- 農整…農地整備課
- 地支…地域支援課
- 農経…農業経営課

No	施策名	リーダー／サブリーダー	支援期間
3	簡易基盤整備等による生産性の高い水田農業の推進	農村計画課長 / 地域支援課長	R8～12
対象市町村			
都城市、三股町			

### 全体計画（5年間計画）

#### （1）目指す将来像と必要な取組

5年後に 目指す 将来像	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域計画に基づく農地調整により、農地が担い手に集積・集約</li> <li>2. 簡易基盤整備等の活用により水田が大区画化</li> <li>3. スマート農業技術による省力・低コスト栽培が定着</li> <li>4. 担い手の規模拡大が進み、効率的で収益性の高い水田農業を展開</li> </ol>	 <p>簡易基盤整備で区画拡大した水田</p>
必要な 取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域計画の実現に向けた簡易基盤整備等の推進</li> <li>② 担い手の経営規模拡大に向けた作業効率化</li> </ol>	

#### （2）目標

指標	R6（基準）	R12（目標）	指標	R6（基準）	R12（目標）
● 30ha以上水田作付経営体数	7戸	10戸	● 簡易基盤整備面積	140ha	176ha
● 作業の効率化に取り組んだ法人数	—	3法人			

#### （3）必要な取組ごとの実施内容と連携体制（全体像）

取組事項	地企	農畜	農計	農整	地支	農経	他	R	R	R	R	R
								8	9	10	11	12
<b>取組①：地域計画の実現に向けた簡易基盤整備等の推進</b>												
内容1：地域計画の見直しの実施	●				○	○	市、町、公社、農委	●	→	→	→	→
内容2：担い手への農地の集積・集約に向けたマッチング支援	●		○	○	○	○	市、町、公社、農委	●	→	→	→	→
内容3：簡易基盤整備の推進とほ場整備の着実な実施	○		●	●		○	市、町、公社、農委、土改	●	→	→	→	→
<b>取組②：担い手の経営規模拡大に向けた作業効率化</b>												
内容1：規模拡大意向農家の明確化と支援方針の策定	○	●			○	●	市、町、JA	●	→			
内容2：集落営農組織と農業法人との農作業受委託に向けたマッチング支援	○	○			●	○	市、町、JA、公社、農委	●	→			
内容3：農作業受委託による水田フル活用の推進	○	●			●	●	市、町、JA			●	→	→
内容4：生産性向上に向けたスマート農業技術の導入支援	○	●			○	●	市、町、JA	●	→	→	→	→

【補足説明】


- 公社…宮崎県農業振興公社
- 農委…市町農業委員会
- 土改…土地改良区
- 地企…地域農政企画課
- 農畜…農畜産課
- 農計…農村計画課
- 農整…農地整備課
- 地支…地域支援課
- 農経…農業経営課

## 6 各重点的施策

No	施策名	リーダー／サブリーダー	支援期間
4	北諸県地域の施設園芸を牽引するきゅうり産地づくり	農業経営課長 / 地域支援課長	R8～12
対象市町村			
都城市、三股町			

### 全体計画（5年間計画）

#### （1）目指す将来像と必要な取組

5年後に 目指す 将来像	<ol style="list-style-type: none"> <li>きゅうり栽培技術・経営資源の承継システムが整備され新規就農者が定着</li> <li>環境制御技術の高度利用が進み収益性の高いきゅうり栽培が展開</li> <li>農作業の細分化が進み多様な雇用人材が活躍</li> </ol>	 <p>ハウス内環境データ、 生育・収量データの活用</p>
必要な 取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>就農希望者受入体制の確立及び技術習得支援の強化</li> <li>次世代学修グループの立ち上げと環境制御技術習得に向けた支援</li> <li>マッチングアプリ等を活用した作業労力確保</li> </ol>	

#### （2）目標

指標	R6（基準）	R12（目標）	指標	R6（基準）	R12（目標）
● 施設きゅうりの環境制御研究会の平均反収	20t/10a	30t/10a	● マッチングアプリ等新たな手法で労働力を確保した農家戸数	1戸	15戸
● 施設きゅうりの新規就農者数	2人/年	3人/年			

#### （3）必要な取組ごとの実施内容と連携体制（全体像）

取組事項	地企	農畜	地支	農経	他	R8	R9	R10	R11	R12
<b>取組①：就農希望者受入体制の確立及び技術習得支援の強化</b>										
内容1：承継可能なハウス等資産のリスト化及び就農希望者とのマッチング体制の整備	●	○	●	○	市、町、JA、NOSAI	●	→	→	→	→
内容2：空きハウス等を活用した技術習得の支援強化・拡充	●	○	●	○	市、町、JA	●	→	→	→	→
内容3：関係機関が一体となった研修後フォローアップ体制の強化	○		●	●	市、町、JA		●	→	→	→
<b>取組②：次世代学修グループの立ち上げと環境制御技術習得に向けた支援</b>										
内容1：既存の環境制御研究会への後継者・若手生産者の参加呼びかけ		○	○	●	市、町、JA	●	→	→	→	→
内容2：次世代学修グループの立ち上げ、技術・知識の習得支援		○		●	市、町、JA		●	→	→	→
内容3：環境制御マニュアルの見直しと産地内での共有		○		●	市、町、JA		●	→	→	→
<b>取組③：マッチングアプリ等を活用した作業労力確保</b>										
内容1：きゅうりの栽培工程細分化と各工程における作業労力の現状分析	○		●	●	市、町、JA	●	→			
内容2：雇用労力を活用する作業マニュアルの作成	○	○	●	●	市、町、JA	●	→			
内容3：労力確保に向けたマッチングアプリ等の活用支援	○	○	●	●	市、町、JA	●	→			

【補足説明】


- ・ 地企…地域農政企画課
- ・ 農畜…農畜産課
- ・ 地支…地域支援課
- ・ 農経…農業経営課

## 6 各重点的施策

No	施策名	リーダー／サブリーダー	支援期間
5	地域資源を活用した循環型農業の推進	農畜産課長 / 農業経営課長	R8～12
対象市町村			
都城市・三股町			

### 全体計画（5年間計画）

#### （1）目指す将来像と必要な取組

5年後に 目指す 将来像	1. 農業法人やコントラクター等が連携して飼料作物の産地生産力を維持 2. 有機質肥料や飼料作物等を活用した資源循環型農業が展開 3. 減化学肥料等の環境負荷低減の取組が展開	
必要な 取組	① 農業法人・コントラクター等と連携した飼料作物の生産体制の構築 ② 地域資源の活用による化学肥料の低減・有機農業等の定着支援	

地域資源としての飼料作物とその受託作業

#### （2）目標

指標	R6（基準）	R12（目標）	指標	R6（基準）	R12（目標）
●コントラクター等組織数	11	17	●有機質肥料等取扱量	731 t	800 t
●みどり認定農業者数	1名	16名	●有機栽培茶の取組面積	20.6ha	28.6ha

#### （3）必要な取組ごとの実施内容と連携体制（全体像）

取組事項	地企	農畜	農計	農整	地支	農経	他	R8	R9	R10	R11	R12
<b>取組①：農業法人・コントラクター等と連携した飼料作物の生産体制の構築</b>												
内容1：飼料作物生産に関する意向調査		●				○	JA、南酪、農家 コントラクター	●	→	→	→	→
内容2：関係機関・団体と連携したコントラクター、農業法人及び畜産農家とのマッチング支援	○	●	○	○	○	○	畜産技術員会 都城圏域 耕畜連携NW	●	→	→	→	→
内容3：農業法人等への飼料作物生産拡大の推進	○	●	○	○	○	○	畜産技術員会 都城圏域 耕畜連携NW	●	→	→	→	→
内容4：農業法人等への耕畜連携に関する啓発活動を強化		●				●	市、町、JA	●	→	→	→	→
<b>取組②：地域資源の活用による化学肥料の低減・有機農業等の定着支援</b>												
内容1：有機栽培茶の生産拡大に向けた取組支援		○				●	市、町、JA	●	→	→	→	→
内容2：露地野菜の有機栽培等の推進に関する啓発活動を強化		○				●	市、町、JA	●	→	→	→	→
内容3：地域資源を活用した化学肥料の低減推進		○				●	市、町、JA	●	→	→	→	→

【補足説明】

- ・ 南酪・・・宮崎県南部酪農業協同組合
- ・ 畜産技術員会・・・市、町、JA、NOSAI、県の職員が構成員となって、畜産の振興や営農指導等を協議する組織
- ・ 都城圏域耕畜連携NW・・・上記の一部にコントラクターや農業法人等を加えたネットワーク組織

- ・ 地企・・・地域農政企画課
- ・ 農畜・・・農畜産課
- ・ 農計・・・農村計画課
- ・ 農整・・・農地整備課
- ・ 地支・・・地域支援課
- ・ 農経・・・農業経営課